

広報

のた

平成15年(2003)年

9月号
No.363



主な内容

- ・野田観光まつり……………2
- ・村の避難訓練……………6
- ・生涯学習だより……………10
- ・むらのわだい……………12
- ・むらの文芸……………14
- ・おしらせ……………16

それっ！おわんでガバっと

7日に開かれた下水道まつりでは金魚すくいが大人気。夢中になり過ぎた子どもたちは、壊れたモナカをエサ代わりに集まった金魚をおわんで一網打尽。やった今日は大漁だ！ってそれはズル？（関連記事は13ページ）

ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp>

Eメール soumu@vill.noda.iwate.jp

つたう雫とあふれる熱気 盛大に野田観光まつり

野田観光まつりが
八月二十三日（土）
の前夜祭を皮切りに、
二十六日（火）まで、
盛大に開催されまし
た。

ヤヨイはイエー

今年は世が世で

愛宕の祭りイエー

繰り出す神輿は

村青若い衆イエー

（野田みこし会音頭より）

愛宕神社



こと～しゃあめでたい愛宕の祭り♪ (下組)



初参加で盛り上げてくれた久慈工生ら



激しく美しく。田子町流し踊り保存会



祭りに華を添える。実は主役？ (上組)

中川村長、北田徳義実行委員長などにより鏡開きを行い、詰め掛けた人たちに御神酒を振る舞って、お祭りの始まりを祝いました。

野田みこし会の若者らは、威勢のいい掛け声とともにみこしを担ぎ、迫力あるみこしの取り回しに大きな拍手を浴びていました。

広場中央には上・中・下組の迫力ある風流山車が集まり、勇壮な太鼓や笛、音頭を披露しました。

お祭りの日は晴れるといわれてきたジンクスも最近の異常気象には勝てず、天から降り注ぐ雨の雫を浴びてしまいました。

二十三日(土)、役場前広場で行われた前夜祭では、野田中吹奏楽部が県大会で金賞を受賞した曲などを披露しました。のだ舞遊連は躍動感あふれるよさこいソーランを舞い、華やかなお祭りの火蓋を切って落としました。

にぎわった前夜祭

野田観光まつり



野田観光まつり

熱気溢れるお祭り

二十四日(日)は、肌寒い曇り模様の天気を気にしながらのお通りとなりました。

今回は久慈工業高校の生徒たちもみこしを担いで参加してくれました。みこしは野田みこし会、新山子供みこし会、泉沢子供みこし会、明内子供みこし会、玉川地区子供みこし会、役場みこし会の計七台となり例年以上の盛り上がりを見せていました。

大き目の半てんに袖を通し、一生懸命に山車を引く小さな子どもや、華やかな衣装に身を包んだ金棒引きの女の子らは、待ちに待ったお祭りを心行くまで楽しんでいました。

山車やみこしに参加した若者らは、この日のために蓄えたエネルギーを、おもいきり爆発させていました。

中日の二十五日(月)は、野田港で港まつりが行われ、大漁や操業の安全を祈って神事を行った後、十府ヶ浦沖付近まで海上パレードをしました。会場の一角に置かれたいけすに放された、サバやカレイなどのつかみ取りや懸賞付きのもちまきが人気を集めていました。城内地区では村流し踊り保存会の流し踊りや、のだ舞遊連の舞い、



少年頼朝の奮戦 (上組)



濡れても平気！雨？汗？(玉川地区子供みこし会)



ちょっと疲れ気味？(新山子供みこし会)



迫力満点！下組の山車

なもみ太鼓の会の演奏など、盛りだくさんの内容に沿道の人たちは割れんばかりの拍手を送り大満足の様子でした。

狂喜乱舞の盆踊り

辺りが夕闇に包まれると、多くの人が集まりだし、恒例の大盆踊り大会が開催され、打ち鳴らされる太鼓と歌に酔いしれながら踊りました。

踊り終えた参加者らは抽選券と汗を握りしめ、結果が発表されるごとに一喜一憂し、会場は興奮の渦に包まれていました。

見事に豪華な景品を手にした人や、踊りのアピールが足りずに外れたのではないかとうつむく人など、会場となった役場前の広場は色とりどりの浴衣で埋め尽くされていました。

最終日の二十六日(火)の夜には、お祭りを締めくくる百五十発の花火が、豪快に打ち上げられました。

沿道を歩く人たちは夜空に咲き乱れる大輪の花を、秋の風に吹かれながら堪能していました。

先月の砂まつりに続き、秋の観光まつりも悪天候に見舞われてしまいました。来年こそはいい天気に恵まれますように！



生きたイカだー (港祭り)



勝負あり? (港祭り)



中学生も大奮闘 (泉沢子供みこし会)



様子町で披露した山車を再現 (中組)



元気にワッショイ! (朝内子供みこし会)

「地震」「津波」あなたならどうしますか？

374人が避難し訓練に参加



地震や津波など有事の際に迅速に対応できる防災体制をつくり、住民の防災意識を高めるために、七日（日）に地震津波避難訓練が行われました。

訓練は早朝五時三十分、三陸沖二百四十キロを震源地とする震度五強の地震が発生したことを、想定して実施されました。防災無線で訓練を始める発令が放送されると、各分団の消防車やポンプ車十五台、団員百四十三人、婦人消防協力隊三十人、役場や分署の職員七十五人が素早く出動しました。団員らは水門を閉めたり、避難対象となっている地域の住民の誘導など、割り当てられた役割をてきぱきとこなしていました。



←水門の閉鎖を確かめる第8分団員

↓これが非常食？おいしいと大好評



訓練に参加したのは計三百七十四人と昨年を四十人（約十二％）上回りましたが、避難対象者の約五十三％と、参加率は決して高いとはいえない状況です。自分の身を守るためには、万が一に備える防災の意識を持つことが大事です。地震が起きたら、津波が襲来したら、あなたならまずどう行動しますか。冷静に正しく行動するためにも積極的に訓練に参加しましょう。

参加率53%もつと参加しよう

訓練に参加した人たちに對し中川村長は「地震を感じたらまず避難することを心がけて欲しい。村では潮位の観測ができる連絡装置を今年度中に整備し、防災に備えたい」と呼びかけ、防災の対策についての方針を述べました。訓練に参加した中野琴子さん（南浜）は「自宅が海岸に隣接することから、非常食や着替えなどの非常用品をいつも準備している。団員の避難誘導は心強い」と対応に感謝していました。

米田・南浜で炊き出し訓練

十府ヶ浦海岸に隣接した米田・南浜の地区では、協力隊が炊き出し訓練を行い非常食の配給を行いました。

いつまでもお元気で 村敬老会で長寿を祝う

村では十三日（土）、村内の七十二才以上のお年寄りを招待して村敬老会が村体育館で行われ、健康と長寿を盛大にお祝いしました。



いやあ～楽しすぎるわね♪

敬老会には、米寿（八十八歳）十四人と喜寿（七十七歳）五十四人を含む計八百二十四人の対象のうち、三百四十九人（四二・三％）が出席しました。

中川村長が「皆さんは厳しい時代を過ごし、村のために貢献された方々です。これからも元気で長生きしてください」とあいさつし、米寿代表の大澤ナホさん（前田小路）と、九十才以上の長寿を代表した古館福次郎さん（米田）に、記念品を手渡しました。

小野寺敬次郎さん（下明内）が「盛大な会を開いていただき感謝しています。これからの余生を社会のためがんばります」とお礼の言葉を述べました。

村社会福祉協議会の泉沢徳治理事長の音頭によって乾杯をして盛大に祝宴が始まりました。

アトラクションでは、野田村保育所の園児による花笠ロックや下明内婦人会、三ツ甚句の会の踊りのだ舞遊連のよさこいソーラン、なもみ太鼓の会の迫力ある演奏などが披露されました。

招待を受けた人たちは、ごちそうに舌鼓を打ち、気の合う仲間とともに、笑顔で楽しいひとときを過ごしました。



来年もいざ会おうべしな！

手踊りも上手だこと

ことぶき荘でお祝い



役者ぞるいです

特別養護老人ホームことぶき荘（上野丈夫園長）では、十二日（金）に長寿を祝う会を開きました。

利用している人たちは、三ツ甚句の会や下明内婦人会、施設の職員などの歌や踊りを楽しんでいました。

利用者もアトラクションに参加し、外山節にあわせて太鼓や手踊りを披露しました。練習の成果が実り、会場からはアンコールの声が！

「当たり前前のことをきこちんと」

「見つめ直そう家庭の教育」《前編》

野田村教育長 高橋 光邦

近年、都市部や地方を問わず、青少年の犯罪が多様化、広域化、低年齢化し増加の一途をたどっていることは、大変悲しいことです。

特に、最近の少年事件のキーワードは、「普通の家庭の子どもで、おとなしく、成績もよい」というのが共通しています。

普段は親子の会話もなく、父母との距離が遠いことに不安を抱く子どもがいたかもしれません。家族全体を包み込む愛情を持った父親であるべきはずなのに、子どもとの接触を避け、子どもの問題は

全て母親まかせでは、強い父親像に対する期待を裏切ってしまうことになるでしょう。

改めて、家庭の責任の重さをしっかりと見つめ直さなければならぬときにきていると思わざるを得ません。子どもたちに、社会規範（ルール）を守る大切さを説くのは親の役目です。親は人生最初の教師であり、教育の原点は家庭であることを自覚することが重要でしょう。子どもは、自信を持って自分と正面から向き合ってくれる親を求めているということを忘れてはいけません。

今、学校教育は教育の改革という観点から、特色と魅力のある開かれた学校、信頼される学校づくりに向け試行錯誤しています。小・中一貫教育を軸に、一に健康・体力の向上、二に心の教育、三に学力の向上という目標の達成に校長のリーダーシップのもと、教職員一丸となって、将来ある野田っ子の育成のため努力しています。今年度から、できること、やれることから一つひとつ具体的に取

これからの教育は、「生きる力を育む」、そのため「基礎・基本を重視する」ことが強調されています。教育は、学校だけではありません。今求められているのは、むしろ家庭の教育です。子どもの健全な成長を願っていることは、親も教師も同じです。そのためにお互い努力していますが、学校、家

「生きる力」を育み

基礎・基本を重視

組みを始めています。近いうちに、学校から情報発信されることでしょう。保護者の人たちからも十分ご理解をいただき、学校と連携を取りあい子どもの成長・発達にお力添えをいただきたいと切望しているところです。



自立して母校を巣立つ日はそう遠くありません

庭の役割ということになると、いさか見解の分かれるところもあるようで、これは家庭、これは学校という線引きを考えるわけにはいかないようです。家庭の役割、学校の役割をはっきり分けるよりも、連携をさらに強め、相乗効果を高めるために次のようなことが必要であると考えています。

家庭教育の役割：「しつけ」

- ・ 規則正しい食事と作法を学ぶ
- ・ お金の使い方や身につける
- ・ 服装や髪を整える
- ・ 整理整頓とんする
- ・ きちんとあいさつをする
- ・ 時間・約束を守る
- ・ 正しい言葉遣いをする
- ・ 進んでお手伝いや掃除をする
- ・ 生活規律をしっかりと
- ・ できるだけ徒歩通学をするなど

学校の役割

- ・ 仲間づくりをする
 - ・ 学習意欲を持つ
 - ・ 芸術・文学・スポーツに触れる
 - ・ 男女の体の知識を教える
 - ・ 奉仕活動に参加する
 - ・ 集団と個の関わりを学ぶなど
- 「どさうとも言えないもの」
- ・ 海や山などの自然に触れる
 - ・ 進路先を選択する
 - ・ 危険な遊びや場所の知識
 - ・ 異性との交際の仕方など



仲間との協力作業は心と体を成長させます

全国・東北の大舞台で活躍 がんばった野田中柔道部



大満足の結果に笑顔の米田さん

八月十七日(土) から二十日(土)まで開催された、全国中学校柔道大会の個人戦に出場した米田美代子さん(旭町)が、ベスト8(第5位)に輝きました。女子団体戦では念願の白星を獲得できたようです。

米田さんは、第一回戦目をシードで上がり、迎えた第二回戦目では楠佳奈さん(山梨県)と対戦し、あわせ技一本で見事に勝利をおさめました。

蒲春輝さん(岐阜県)と対戦した第三回戦目では僅差ながら判定で勝ちましたが、準々決勝で秋元江美さん(埼玉県)に痛恨の一本を献上してしまいました。

団体戦は、三回の対戦をするリーグ戦で、念願の一勝をもぎ取ることができましたが、惜しくも三チーム中2位となり、決勝トーナ

メント戦へ出場することはできませんでした。

コーチの岩山勝幸さん(北区)は「団体戦で一勝できたことが大きな収穫だった」と全国の舞台で活躍した選手たちのがんばりに感激していました。

七月三十日(水)に青森県弘前市で開催された、東北中学校柔道大会に県代表として、男女の団体戦と個人戦に出場しました。

個人戦には米田さん、小田あゆみさん(本町)、坂本良太くん(北区)の三人が出場しました。米田さんは、見事優勝し東北チャンピオンに輝きました。

女子団体戦では予選リーグを一勝一敗で突破しましたが、決勝トーナメントの準々決勝で渡波(宮城)に代表戦の末破れ、ベスト4進出を前に涙を飲みました。



大きくなってね。やさしく植樹

八月十三日(水)、国民宿舎えぼし荘で、村出身者で組織された、野田はまなす会(種綿勇会長、会員百七十四人)の総会が盛大に開かれました。

例年は東京都を会場として開催していましたが、会の設立十五周年を記念してふるさとの野田村で開催したものです。

東京都や神奈川県などで生活する会員三十七人が村を訪れ、懐かしいの地を踏みました。

貸し切りバスに乗り込んだ一行は、十二日の夕方に新宿を出発し翌日の早朝に村に到着しました。

総会を前に記念の植樹を行い、

15周年を記念しふるさとで 野田はまなす会が総会



やっぱりふるさとはいいな〜。交流の楽しさは笑顔が証明

ヤマボウシ一本をえぼし荘の敷地内に植え、会員らは口々に「次回はどのくらい成長しているか楽しみだ」と、帰郷の楽しみが増え明るい表情を見せていました。

総会には中川村長、小野茂雄議長も出席し、前年度の事業報告や決算、今年度の予算などが議題となり、原案どおり決まりました。

終了後は、村議員やフレンドワーク野田の会員らも参加して交流会が行われ、ふるさとの話題に花を咲かせていました。

▼大会史上初！今大会5本のHRを打った城内上 チーム野崎一弘選手



見事なファインプレーとチームワークで優勝した城内上チーム

雨にも負けず好珍プレーで

和気あいあいと壮年ソフトボール大会

第十七回壮年ソフトボール大会が、八月十七日（日）山村広場で、各地区から十チームが参加して開かれました。

開始直後に雨が降り出し、試合できるか心配した中川村長も駆けつけるほどでしたが、選手や応援団の熱意で順調に進みました。

試合は、ぬかるみで転びながらも時折り見られる珍プレーに大笑い起きるなど、和やかに行われました。

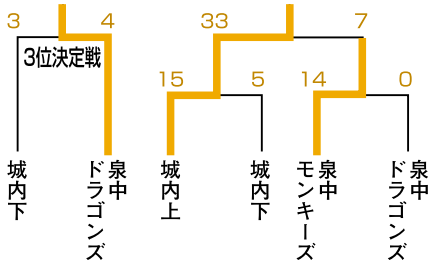
決勝は、城内上と泉沢・中平モンキーズの対戦となり、三十三対七の大差で、城内上が二年ぶり二度目の優勝旗を手にしました。

■試合結果■

(決勝トーナメント)

優勝：城内上

準優勝：泉中モンキーズ 第3位：泉中ドラゴンズ



選手たちが見守る中、緊張の一瞬です

◆泉沢・中平チーム2連覇

グラウンドゴルフ大会

第二回世代間交流グラウンドゴルフ大会が、七日（日）山村広場で、各地区から十二チームが参加して開かれました。

競技は八ホールを二コース回り、合計打数の少ないチームが上位となるため、一打のミスが勝敗を左右する真剣勝負となりました。

見事優勝を飾ったのは、前回の覇者泉沢・中平チームでした。

代表の宇部東四郎さん（中平）は、「大会一回目でどのチームも上達していた。来年も勝てるよう練習していきたい」と、早くも次の大会へ意欲を燃やしていました。

◆大人顔負けの熱戦

教育長杯争奪少年野球大会

第二十二回教育長杯争奪少年野球大会が、七日（日）新山運動広場で、村少年野球チーム三球団が参加して開かれました。

試合はファインプレー続出の白熱した展開になり、子どもたちの頑張りにより、子どもたちの応援を送っていました。

心配されていた雨は試合終了直後に降りだし、関係者も胸を撫で下ろしていました。

結果は、昨年八連覇という大記録を逃がし、悔しい思いをした野田ファイターズが雪辱を晴らし、久慈地区スポーツ少年団交流大会の出場権を手に入れました。



ボールをとらえるまなざしは気合い十分！



親切な家族と一緒に。Say, "Cheese" !!

Cat先生の大冒険

友人・キムと体験した 京都でのすてきな出会い

京都の中心地から三時間、手漣あべしんりゅうの和紙で有名な綾部市黒谷町あやべしんりゅうから京都へ戻るためのバスを待つていたときのことです。一台のバンが道路脇に止まり、中から男の子が降りてきて道ばたで用を足しました。彼はどこへ行くか尋ねると京都に行くというので、車に乗せてもらいました。

途中、「外人を二人乗せた。そっちに連れて行く」と電話をしていました。「一体どうなるんだろう」と思いました。車の窓には黒いシート、そして「B Boys in the Kyoto」と書かれたおそろいのTシャツを着ていたので、何が起きるか本当に分からなかったのです。

車が止まり案内されたところは、バーベキュー会場でした。私たちは驚くばかりで、その家族の温かささに心を打たれました。

パーティが終わると私たちにTシャツを渡し、親切に京都駅まで送ってくれました。興奮気味に会話をし、おそろいのTシャツを着て大股で歩く姿は、端から見るとまぬけだったに違いありません。

すべての旅においてそうであるように、全く予想もしていない出来事は心に残るものです。親切な家族と偶然知り合ったように。

芸術の秋は草木染め

いきいきライフ

いきいきライフ第3回『草木染めと藍染め教室』が、8日(月)、9日(火)の2日間、総合センターで行われました。

先生の指導のもと、ハンカチなどに割り箸や小豆を使って模様を作り、玉ねぎの皮、すすき、桜の葉をそれぞれ煮出して染めました。

参加者は、鮮やかな黄色に思い思いの模様が浮かんだ作品を手に、「きれい！簡単だから家でやってみよう」と、満足した様子でした。作品は、11月2日(日)から開かれる村文化祭に展示されます。



完成した作品を手に「いい色だあ」としみじみ



指導員の説明を真剣に聞く参加者

ナイスショットで気分爽快

悠YOUスポーツクラブ

悠YOUスポーツクラブの『パークゴルフ教室』が、13日(土) おおのキャンパス・パークゴルフ場で25人が参加して行われました。

素晴らしい秋晴れの中、広大な芝生の上でプレーを始めました。初めてクラブを握った人も、続々と高得点を記録しました。

参加者は、「歩き疲れることもなく楽しくできた」「上手く打てたときは気持ちよかった」と、パークゴルフの醍醐味を思う存分味わい、爽やかな汗を流していました。

八月二十二日(金)、MR修理工のメンバー七人が野田小学校の児童に、手づくりで修理した机四十台、イス四十一脚、木製の踏み台十三台を渡しました。

新品と見間違えるほどに仕上げた同団体は、久慈工業高校(安倍喜代二校長)土木科の三年生で組織し、学校や保育所の要望に応える活動などを行っています。

メンバーの中野宏宣さん(愛宕町)は「木工機械の取り扱いが初めてで戸惑った。塗装や組み立てなど試行錯誤して完成させた。長く使って欲しい」と完成品の出来に満足していました。



お互いに心を込めて

イス・机をリサイクル 久慈工のMR修理工

県の野球大会に多大な協力 中川村長・関本会長が受賞

八月二十九日(金)、えぼし荘で開かれた、社会人野球日本選手権大会県予選の第三十回目の開催を記念するパーティーの席上で、中川村長と村野球協会の関本満会長が、県野球連盟の長澤正夫会長から表彰状を受け取りました。

同連盟では、野田村で開催した大会で施設の使用や運営に対して多大な協力を得たとして、表彰したものです。

表彰を受けた中川村長は「この大会や村の球場を通じて野球選手からの底辺の拡大を願っている。これからもすばらしい舞台を提供したい」と謝辞を述べました。



これからも夢の舞台の提供を

新たな時を刻みはじめた 卒業生が時計を寄贈

野田中学校(鈴木政治校長、生徒二百十五人)の敷地内にある時計が再び時を刻み始めました。

昭和四十八年卒業生が卒業記念に贈った時計が動かなくなっていたことを知り、同卒業生の同級会実行委員会(平谷東英実行委員長)が卒業三十周年を記念し、電波信号で時刻を調整する優れた時計を贈りました。

会長の平谷さんは「数年前から壊れていたことを気にかけていた同窓会の開催した記念を形に残すことができた」と嬉しそうに話してくれました。



記念が形になりました

村の歴史と自然を探索 塩の道を歩こう会

間明地区から久慈市山根町上戸鎖地区まで、約十キロを歩く「塩の道があるこう会」が七日(日)に開かれました。

野田っ子やNPO法人野田塩べこの道(貫牛利一代表)の会員など、村内外から約70人が参加し先人の歴史に触れながら自然を探索しました。

参加者らは昼食で野田塩を使ったヤママやイワナの炭火焼きなどをおいしそうにほおぼり、疲れた体を癒していました。海水を煮詰めた自然塩をつくりだす塩づくり体験も行われ、楽しく交流を深めていました。



おお！塩になってる

明るい未来へつなぐ 村内で下水道まつり

九月七日（日）に新山地区で、十四日（日）は下安山地区で下水道まつりが行われました。

訪れた人たちは地区の住民が振る舞った海の幸などに舌鼓を打ちました。綿あめや金魚すくいコーナーでは、たくさん子どもたちでにぎわいました。

新山地区では浄化センターの一般公開も行われ、見学した人たちは施設内部の構造を見ながら、下水道のしくみに理解を深めていました。

中川村長は「し尿処理をする施設ですが敷地内で飲食できるほどきれいです。下水道は将来なくてはならないもの。村は県内でも普及率は上位に位置する」とあいさつしました。

安藤正会長は「新山地区の接続率は八十四%から伸び悩んでいる。トイレだけでも接続して欲しい。下水道

を使うことで自然環境や農林水産物の生育環境が改善できる」と接続の協力を訴えていました。

玉川地区では二十日（土）に開催される予定です。



うまごぢゃんすな〜♪



しくみを知って「へえ〜」

アポイの樹風呼ぶまち



友好町村だより

北海道様似町⑤2

様似町最大のイベント アポイの火まつり開催

エンルム岬の火文字を背景に「第三十三回アポイの火まつり」が港町特設会場できぎやかに行われ、ねぶたパレードやYOSAKOIソーラン、八代亜紀さんの歌謡ステージなど多彩なイベントが繰り広げられました。

近年では珍しく二日とも悪天候で一日目のねぶたパレードとYOSAKOIソーランは予定どおり開催でき、会場には家族連れや帰省客などが大勢繰り出しイベントを楽しみました。

今回は、友好町村の野田村から風流山車がねぶたパレードに参加して、野田村、味方村、様似町の人々で山車を引

き町民はもとより北海道で初披露され、特設会場では音頭上げも披露し、歴史のあるすばらしい山車と音頭上げに大きな声援と惜しみない拍手がおくられていました。

二日目は子どもたちのキャラクタージュョー「爆竜戦隊アバレンジャー」が行われ、激しい雨のなか傘をさしながらも大勢の観客が集まり、大きな声で声援する子どもたちの姿を見て胸を熱くしていました。

町民が一番楽しみにしている歌謡ステージが雨のため中央公民館で開催され、超満員の中で八代亜紀さんが「♪雨雨降れ降れもつと降れ♪」と歌うと場内は大歓声となり、ヒット曲を聞くファンの熱気に包まれる中、歌とスピーチで多くの観客を魅了してくれました。



ありがとうございました

野田はまなす会二十八年会（種綿立雄代表）が、野田村育英会（小野茂雄会長）に対し、42,379円を寄付しました。同会の寄付は今回で二回目。寄付金は二十八年会の事業活動で捻出されたもので、将来を担う村出身の学生のため育英会の基金に積み立てられます。

メンコがってぐんぐん育て 大澤さんがボランティアで

八月六日（土）、大沢貞雄さん（中新山）が、役場前広場の街路樹の枝をきれいに切り揃えてくれました。

無料で奉仕してくれた大澤さんは「樹木がきれいに育つため手をかけることは気持ちが良い」と、額の汗を拭きました。

手入れされた街路樹をながめながら、気持ちよく広場を使うことができます。ありがとうございました。



ご協力をお願いします 住宅・土地の統計調査

10月1日を基準日として、新山、前田小路、玉川地区の一部の住宅と土地の統計調査を行います。
【問合せ先】役場総務課 ☎78-2111

『遊牧民からのメッセージ』in NODA

遊牧民の文化や歴史に触れることができる楽しいイベントです。

27日（土）

「かわいい壁掛けをつくろう」…羊毛を使った毛織物（フェルト）制作、体験 参加費1,000円

9:00～12:00総合センター

講演会「遊牧民からのメッセージ」…遊牧民の歴史、文化、伝統を多面的に紹介します

13:30～15:30生涯学習センター

28日（日）

「遊牧民の料理」…遊牧民の伝統料理の紹介・試食（限定300食） 11:30～アジア民族造形館

「遊牧民の音楽」…伝統的な弦楽器『サズ』をプロミュージシャンが演奏

11:00～、13:00～アジア民族造形館

【問合せ先】村教育委員会事務局 ☎78-2936

川柳

分別が過ぎて捨て身を取り逃し
凶作の三悪ヤマセ、低温、長雨
この冷夏文明文化カヤの外
テロリスト反米一揆燃え上がり
草や木も雨水含みて秋の入

大沢 宏月
大沢 淡声

俳句

山車祭り無情の俄雨
草刈や残暑をさけて一服す
十府ヶ浦昼顔の花風わたる
梅雨明けのなき夏ゆきて秋立ちぬ
祭り日のスコールも気にせずカキキ
病める子の痛み伝えて言葉なく
夜霧の街を惑いて歩む
一Qさん
癒えるを願うそつと手重ねし
両手に孫ははずみて歩む
古山 静香
梅雨明けのなき夏ゆきて秋立ちぬ
岩山 高陽
山車祭り無情の俄雨
大沢 淡声

岩山 高陽
大沢 淡声

短歌

まぎれなく隣の子なり中学生
女子柔道の東北覇者に
苗代金十万元の胡瓜とう
冷夏むざんに反憔悴す
総り待つ人らに無念の冷夏なり
日毎夜毎の雨うらめしく
藤村 夢路
至らざる我を省み暮れなすむ
窓辺に立てばカラスよぎりぬ
村祭り太鼓の音もかき消して
雷鳴いまかしゅう雨来なむに
小野のり子
宵灯り何時もの道とおもえども
夜霧の街を惑いて歩む
一Qさん

むつとん

（八月投稿作品）

テーマ「冷夏」

あなたの意見を募集します

都市計画区域内の用途地域が、定められていない地域の建築形態（建築物の容積率、建ぺい率など）規制を平成16年5月までに改めることになりました。

下記の備え付け先にある原案をご覧のうえ、ご意見（パブリックコメント）をお寄せください。意見に対する県の考え方は県のホームページで発表します。

【原案の備え付け先】県ホームページ、県建築住宅課、久慈地方振興局土木部、役場土木水産課など

項目	改正前	改正後
容積率	400%	一般型 200%
		緩和型 400%
建ぺい率	70%	一般型（未定）
		緩和型 70%

【問い合わせ先】県建築住宅課 ☎019-651-3111、FAX019-651-4160、EメールAG0009@pref.iwate.jp

駐在所 だより

「オレ、オレ」詐欺に注意！

電話で名前を名乗らずに「オレ、オレ。実は金が必要なんだ。〇円振り込んでくれ。」などと、孫を装い金銭を要求する事件が発生しています。詐欺にあわないよう十分注意しましょう。

久慈警察署野田駐在所長 及川 皓正
☎78-2161

えぼし荘

情報の窓

えぼし荘30周年記念秋の収穫祭！

ゲストは橋田淳子さん

おいしい料理と素敵な歌声を堪能し、秋の夜長を楽しく過ごしませんか？

豪華景品が当たるお楽しみ抽選会もあります。

【日時】10月24日（金）18:30～

※送迎バス 野田駅18:10→役場前18:15

【会費】4,000円（料理、飲み物付き）

国民宿舎 えぼし荘 ☎78-2495

三鉄20周年謝恩企画

三鉄直通列車で行く南三陸の旅

三陸の秋の訪れを感じながら旅行を楽しんでみませんか。旅行日の14日前までに下記へお申し込みください。

◇出発日 11月14日、18日、21日、24日、28日

◇代金 21,000円（税込み、朝食1回、昼食2回、夕食1回付き）

◇日程

1日目 野田駅→宮古駅→気仙沼駅→志津川（泊）

2日目 ホテル→みやぎの明治村→気仙沼駅→宮古駅→野田駅

■添乗員が同行します。

【問い合わせ・申し込み】

三鉄ツーリスト久慈営業所 ☎52-0177

お得な「団体利用助成」

自治会や各種団体が研修会などで三陸鉄道を利用する場合、運賃または借上げ料の半額を助成します。

○対象者 3人以上の団体

○助成額 半額

○申し込み 団体利用は3日前、借上げは2週間前までに申し込むこと

【問い合わせ先】三陸鉄道久慈駅 ☎52-0177、または役場総務課 ☎78-2111



年金受給者が死亡したときは

平成15年3月末日現在、村内で国民年金や厚生年金などの年金を受けている人は1,382人（人口の約25%）です。

年金を受けている人が死亡した場合は、年金の給付を止めるために戸籍の死亡届とは別に年金に対する死亡届も必要です。届出がなかったり、遅れたりしたために死亡後も年金が振り込まれると返納することになりますので、早めに手続きをしましょう。

年金は死亡した月の分まで支給され、死亡した人が受け取るはずの年金が支給されていない場合には遺族が「未支給年金請求」をすることができます。

手続き先は年金の種類によって異なりますが、必要な用紙は役場にありますので「死亡した人の年金証書」、「印鑑（認印）」をご持参のうえ、お気軽にご相談ください。

＜現況届も忘れずに！＞

毎年、誕生日の月に届く現況届は引き続き年金を受け取るために必要なものです。誕生日の末日までに必ず提出しましょう。（共済年金は除く）

《問い合わせ先》

☆岩手社会保険事務局二戸事務所 ☎0195-23-4111

☆役場住民生活課国保年金係 ☎78-2928

国民年金保険料は便利な口座振替で！



県民長寿体育祭ゲートボールリレー第3位



エンゼル祝金交付第11号の野崎さん(中央)と第12号の坂本さん(左)



部落対抗野球で優勝! 新山チーム

特別永住者の人へ

特別永住者(朝鮮半島、台湾出身者)で、旧軍人、軍属などとして戦死した人の遺族や重度戦傷病者に弔慰金などが支給されます。
【請求期限】平成16年3月31日
【問い合わせ先】役場住民生活課 ☎78-2123

久慈養護学校の体験入学

未就学の児童や小・中学生とその保護者、教育・保育関係者を対象に行います。10月6日までに電話でお申し込みください。
【日時】10月17日(金) 10:00~
【内容】授業参加、懇談など
【問い合わせ先】県立久慈養護学校 ☎58-3004

無料の調停相談会

金銭、土地、建物、交通事故、家庭の問題なども相談に無料で応じます。お気軽にご相談ください。
【日時】10月18日(土) 10:00~15:00
【場所】久慈市立中央公民館
【問い合わせ先】久慈調停協会 ☎53-4158

防火管理者の講習会

甲種防火管理者資格付与講習会を実施します。希望者は10月15日までに申請してください。
【日時】10月28日、29日
【場所】久慈市防災センター(久慈消防本部)
【講習料】3,200円(テキスト代)
【問い合わせ先】久慈消防署 ☎53-0119、または野田分署 ☎78-2165

参加者を募集します

地域の消費者を対象に安全・安心な食料生産の現場を訪ねる「ふしぎの国の北リアス純情産地ツアー」を実施します。9月30日(火)までにお申し込みください。
【日時】10月14日(火)
【場所】大野村、ミルク工房など
【参加費】600円(昼食代含む)
【問い合わせ先】久慈農業改良普及センター ☎53-4989

職業能力開発コース

月日	コース
10月1日・2日	ワープロソフト Word (基礎)
15日・16日	”(応用)
29日・30日	POPデザイン講習

時間は9時から16時。1カ月前から2週間前までに電話などで受け付け。
【問い合わせ先】岩手県立久慈職業能力開発センター ☎53-6261

秋の行政相談週間 10月20日~26日

総務庁が委嘱している行政相談委員が、国や県、村に対する苦情、要望などについての相談に応じます。事業や工事、制度に関することなど、お気軽にご相談ください。
【行政相談委員】福士徹
野田村大字野田19-2-1 ☎78-2452
◎行政相談 10月20日(月) 13:30~16:30 生涯学習センター
※上記以外の日でも随時ご相談に応じます

家族入浴券が当たる!

かんたん3択 広報クイズ

次の問題の正しい答えをはがきに書いてお送りください。

地震・津波避難訓練では災害に備えた本番さながらの訓練を行いました。訓練で消防団員がてきぱきとこなした行動とは次のうちのどれ?

1. 水門を全開に開けた
2. 避難の対象者を誘導した
3. 非常食を買いだめした

【応募方法】

はがきにクイズの答えと住所・地区名、氏名、年齢を明記してお送りください。正解者の中から抽選で3名に家族入浴券をプレゼントします。応募は一人1通。当選者発表とイラスト、声の欄の氏名掲載はなるべく本名とします。

・イラスト
・聞きたいこと
・耳寄りな話
など
何でもOK!

028-8201
野田村大字野田
20、14
広報の
だ行
住所地区氏名年齢

あなたにも
きく当たる!

【締め切り】

平成15年9月29日(月)(当日消印有効)
広報や村に対する質問、身近な話題などお寄せください。いろんな情報、ちょっと一言、情報交換も大歓迎!

【家族入浴券当選者】

正解は1「クレーンで吊り上げて移動した」でした。当選した皆さんおめでとうございます!

- ・打座 美優さん(北区)
- ・大久保 綾真くん(前田小路)
- ・川平 ゆみさん(中新山)

戸籍の窓口

(敬称略)

■ごめい福を祈ります

中野 一彦 (57歳) 愛宕町
 中野 政太郎 (93歳) 南 浜
 大 沢 し ま (85歳) 門前小路
 掲載を遠慮される方は、届け出のときに戸籍係に話してください。

届け出の期間は、出生届が生まれた日を含めて14日以内、死亡届は7日以内です。

人のうごき <8月末現在>

男	2,637人 (-2)
女	2,748人 (+5)
計	5,385人 (+3)
世帯数	1,663戸 (+3)

- 村内の交通事故 人身事故1件
物損事故13件
- 救急車出動件数 19件
(うち村外3件)
- 飲酒運転検挙者数 1人
(新山地区の男性、平成14年10月からの累計7人)

役場のATMが新しく口座振替などに便利!

役場村民ホール内のATM(現金の自動預け払機)が新しく、操作も簡単になりました。入金や現金の引き出し以外に、振り込みができるようになりました。便利で安心な口座振替の残高確認にも利用できます。稼働時間は9:00~17:00

久慈工のMR修理工の皆さん
 皆さんの見事な技に感動しました。その作品は、新しいものにはない何かを輝きを放っていました。彼らは小学校や保育所などからアンケートによって要望をとらえ、子どもたちが最も必要としているものを提供しています。お金を出して買うことは簡単です。この世にひとつだけのものを作り上げるまでの手間と、作品を手渡す瞬間の喜びを経験することができたようです。お互いが喜びあえるすばらしい活動に拍手!(貳又)

食卓の一品

生イカのかき揚げ丼

- ※ イカと粉を先に混ぜると、揚げた油がはねにくくなります。
- ※ いろいろな野菜で応用できます。おやつにもどうぞ!!



食生活改善推進員
中野澄子さん(愛宕町)



《材料 4人分》

=かきあげ= 生イカ 400g 天ぷら粉 50g ごはん 150g 塩 小さじ1杯 水 3/4カップ 卵 1個 揚げ油 適量 紅しょうが 少々	=天つゆ= 干しシイタケ 6枚 水 2.5カップ 酒 少々 砂糖 大さじ1杯 しょうゆ 大さじ2.5杯
---	--

《作り方》

(かき揚げのつくり方)

- ① イカの胴と足を分け、皮をむき1cm角に切り、天ぷら粉を入れポロポロになるまでしっかり混ぜ合わせます。
- ② 塩水と卵を加え、トロツと落ちるくらいの柔らかさにします。
- ③ 170℃に熱した油でじっくり揚げます。(鍋のふちにつけるようにして入れると油がはねません)
- ④ 天つゆにかき揚げを入れ、弱火で煮こんで味をしみ込ませたら丼に盛ります。

(天つゆのつくり方)

- ① 干しシイタケをスライスし、水につけて戻します。
- ② 鍋にシイタケと戻し汁、酒を入れ煮たさせます。
- ③ 砂糖、しょうゆを入れシイタケが柔らかくなるまで弱火で煮詰めます。

《栄養価 1人分》

エネルギー 37kcal	鉄 0.7mg
たんぱく質 25.5g	塩分 3.7g
カルシウム 33.1mg	

役場の玄関脇に植えてあるナカマドの実が、鮮やかな赤を放っている。七月の後半頃から淡く色に染まったことは驚きである。冷夏であったことも我々人間にとっては夏であるが、植物や昆虫たちは体感気温で季節を決めたり、羽化する、しないを決めてしまうのだらうか。原っぱのススキもしかりであり、白くなりかけた穂が頭を垂れかけたにもかわらず、田圃の穂は上を向いたままである。いつのなつたと言いたいが、時間の経過だけでは実らぬ話である。

は別にしても、晴天の日が二日と続かないとえどおりの秋の空である。これからの秋晴れや短くはなる日照であっても一日でも多く欲しいところである。冷夏により米の収量が下がるとみられる中、備蓄米の市場出荷が始まったと新聞やテレビが報じている。これは、十年前の大冷害による米不足騒動を再燃させないようとする国の措置である。普段にあまり米を食べない人でも、米不足というニュースが流れた途端に買いだめに殺到し確保したが、コクゾウ虫の餌にしたという笑うに笑えない話があったことを記憶している。

No. 10

村長室だより

九月十一日 中川正勝

はじめてのお誕生日



りお 莉央ちゃん (北区)
 平成14年9月3日生まれ
 小野寺浩貴・恵さん 長女
 -お父さん・お母さんから-
 おしゃべり莉央ちゃん、早く
 あんよも上手になろうね!



ゆうや 勇也くん (前田小路)
 平成14年9月7日生まれ 八幡達也・麗伊子さん 長男
 -お父ちゃん・お母ちゃんから-
 強く、元気に、たくましく育ててネ。



しゅうりゅう 修羽くん (南浜)
 平成14年9月13日生まれ
 坂本聖稔・香織さん 長男
 -お姉ちゃんから-
 早く大きくなってね♡
 アバレンジャーごっこしようね!

役場

〒028-18201

岩手県九戸郡野田村大字野田第二十地割十四番地

電話〇一九四七八二二一

編集・総務課

印刷・(有)エイハン印刷

みんなの声 イラストコーナー

◎来年は天気になりますように



下向理奈さん (旭町・13歳)



大久保稜真くん(前田小路・10歳)
◎とてもいい表情ですね



大谷美波さん(北区・10歳)
◎夏は浴衣だね!



川平ゆみさん(中新山・12歳)
◎ちょっぴりさみしそう?



打座美優さん(北区・10歳)
◎ジャンケン「パー」



打座和音さん(北区・6歳)
◎こっちは「グー」?



野崎祐太くん(上泉沢・8歳)
◎サブリンダースだね

ヤング登場

No. 228

今回は北区の宇部隆二さん (19歳)を紹介します。

—お仕事は久慈市の賀口左官工業で働いています。
 —趣味は休日の家でのゴロ寝です。
 —困っていることは先日、友だちに「老けた」と言われたことです。ショック!
 —自分の性格はめんどくさがり屋です。
 —理想の異性のタイプは一緒にいて楽しい人が理想です。俺に対して、どんな話しかけてくれる人がいいですね。

スノーボードに挑戦したい!

—村についてサッカーができる環境が欲しいですね。山村広場にサッカーゴールがあれば最高!
 —次の方を紹介してください
 下泉沢の下田博之さんを紹介します。